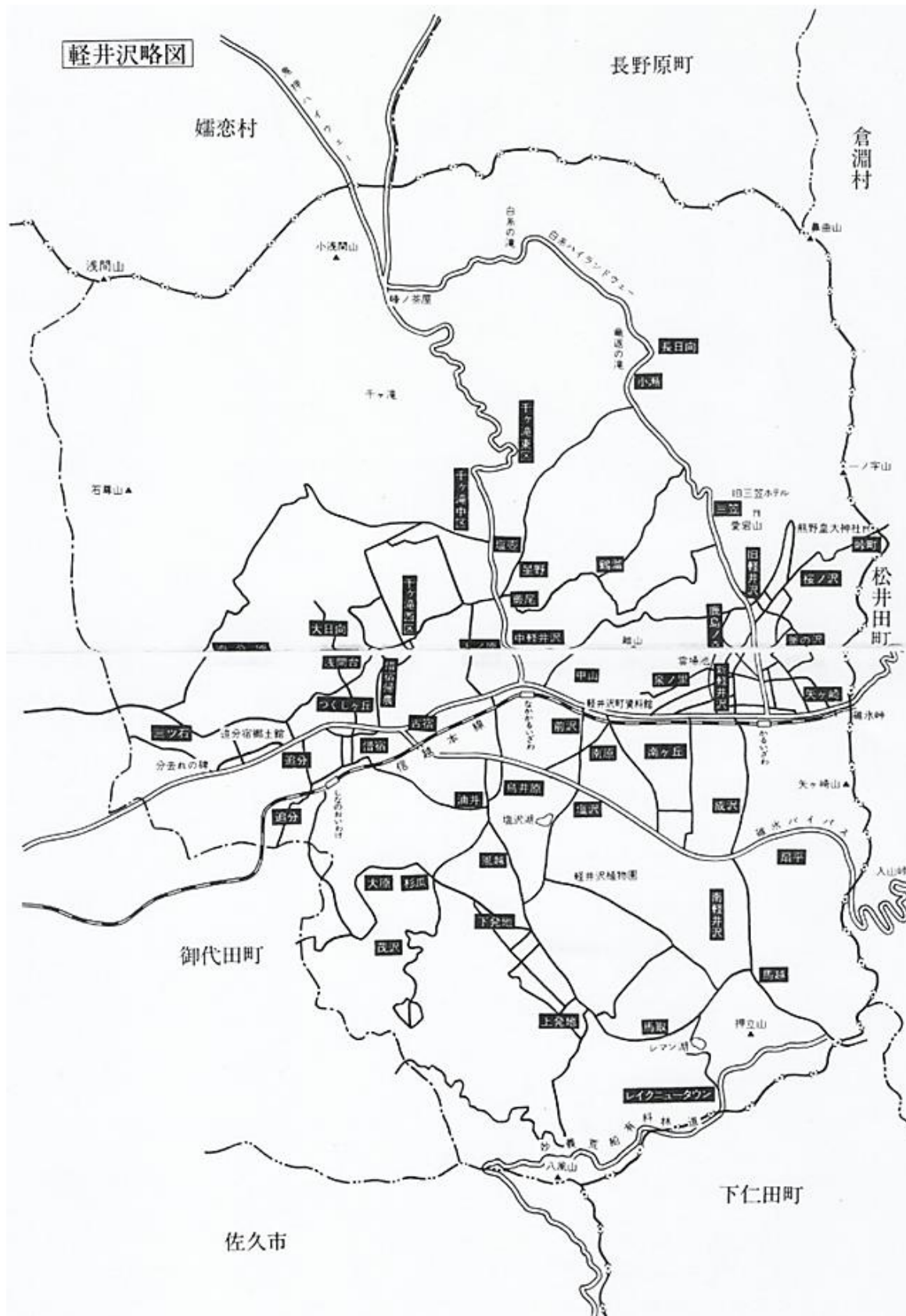


1. 長野県北佐久郡軽井沢町略図¹

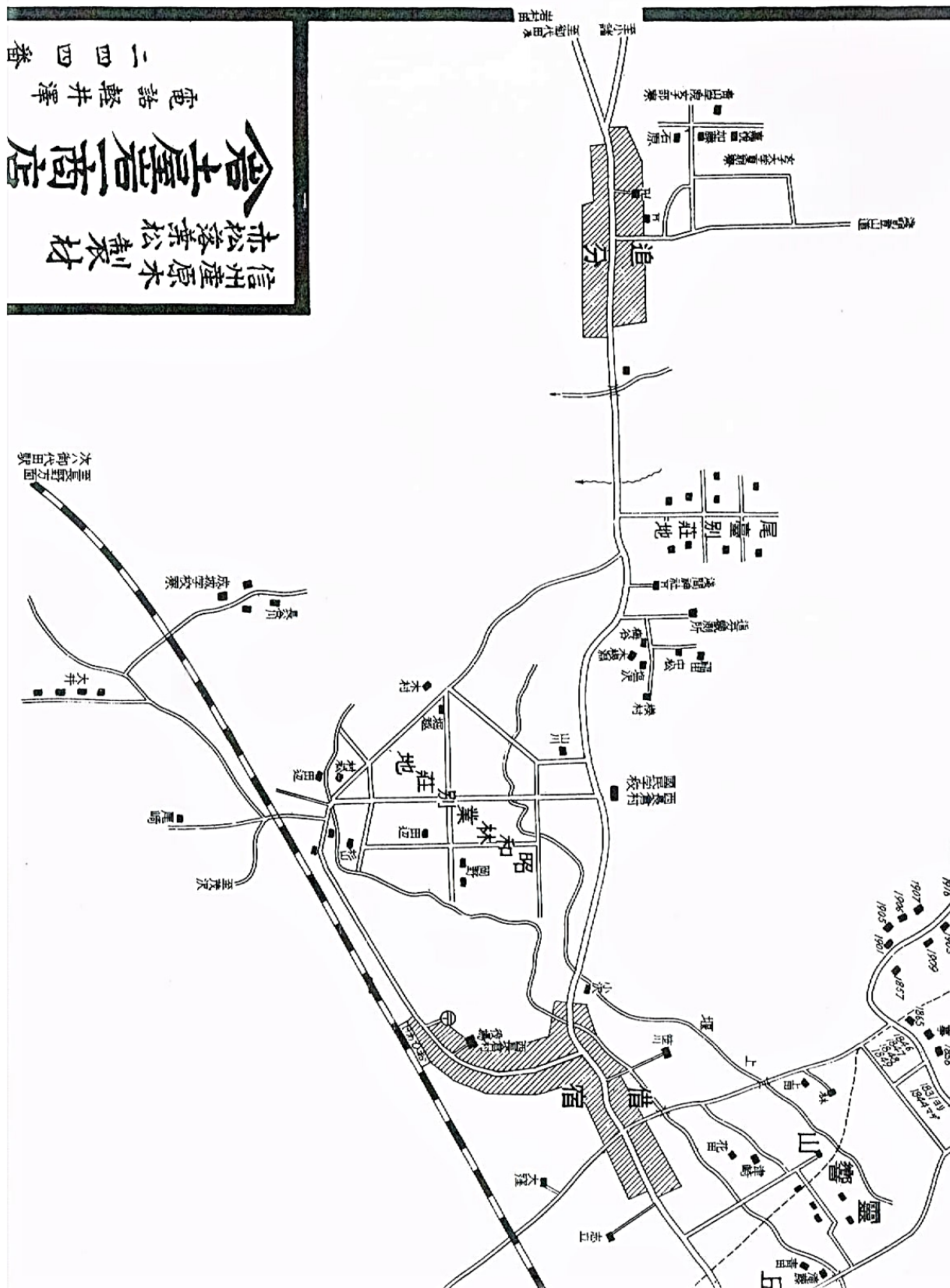


¹ 『軽井沢町誌 民俗編』軽井沢町誌刊行委員会、1989 年。

2021 年 11 月 13 日

II. 信濃追分の加藤家の別荘

中山隆爾「保健之聖地 大軽井澤交通圖」1941 年²



² 中島松樹『軽井澤避暑地 100 年』国書刊行会、1987 年、付録。以下の戦前の追分の写真も同書より引用。

2021 年 11 月 13 日

Ⅲ. 追分の油屋について³

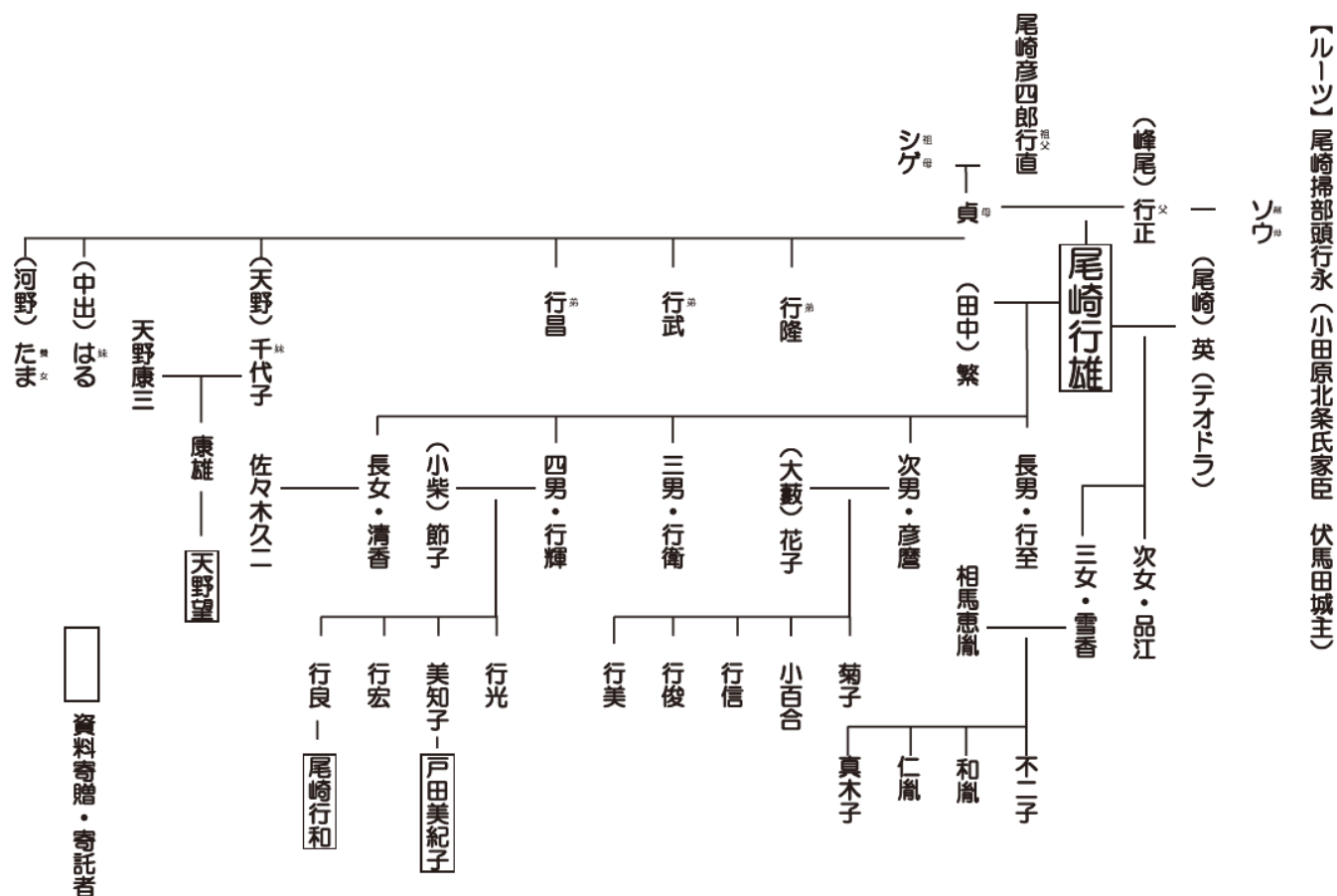
- ・ 1937 年 11 月 19 日に脇本陣油屋（小川誠一郎）が全焼
- ・ 1938 年に堀辰雄、立原道造、室生犀星などを発起人とする建物再興の募金活動が 3 回（正月・8 月・9 月）行われる。その結果、丸子町の豪農の建物（丸子御殿）を移築し、現建物に復興（現在の信濃追分文化磁場油や）



(明治時代の脇本陣油屋)

³ 「油屋旅館と文化磁場油やの歴史」 <https://aburaya-project.com/history/>（最終閲覧日 2021 年 11 月 11 日）、藤島亥治郎「追分宿」『中山道——宿場と途上の踏査研究』（東京堂出版、1997 年）、児玉幸多「追分宿」『中山道を歩く』（中央公論社、1986 年）、『軽井沢町誌 歴史編（近・現代編）』（軽井沢町誌刊行委員会、1988 年）を参照。

IV. 尾崎罌堂関係系図⁴



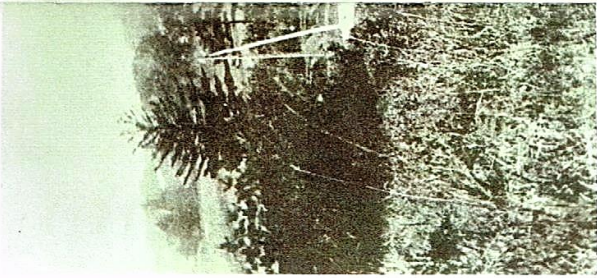
第 1 図 尾崎罌堂関係系図

⁴ 木村弘樹「市民協働による尾崎罌堂関係資料の整理・活用について」『相模原市立博物館研究報告』27 号、2019 年、43 頁。

中山道追分

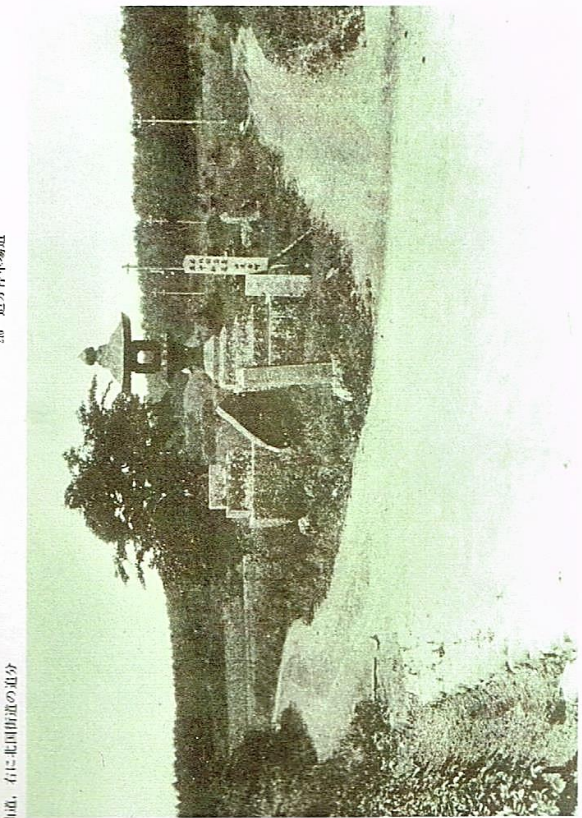


23 追分町の全景

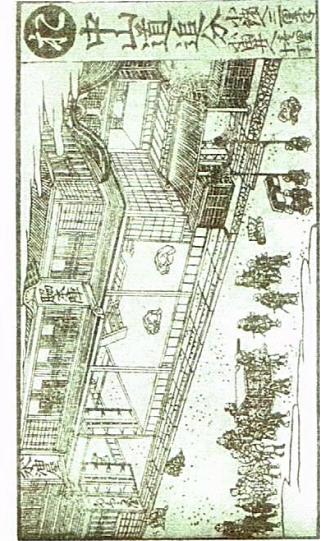
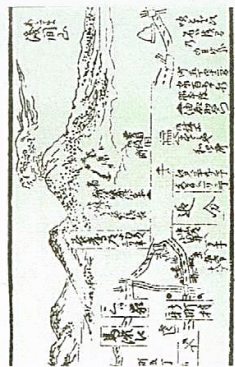


25 追分停車場道

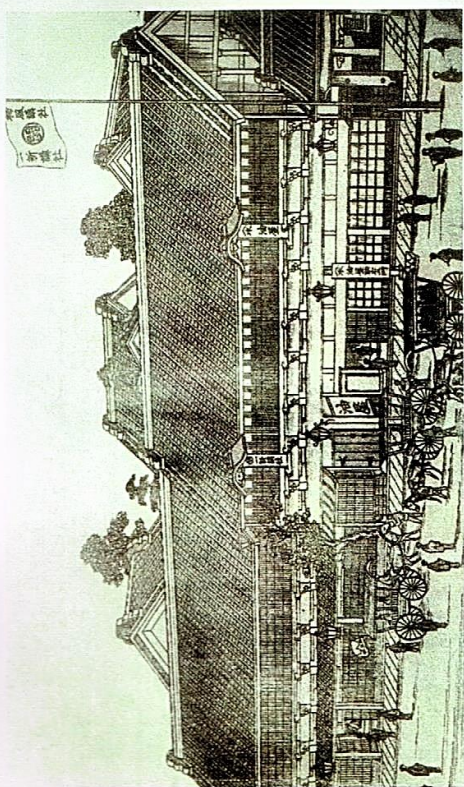
00 町、右に北田街道の追分



24 「中山道中継見立」(寛政8年)にみる中山道追分宿

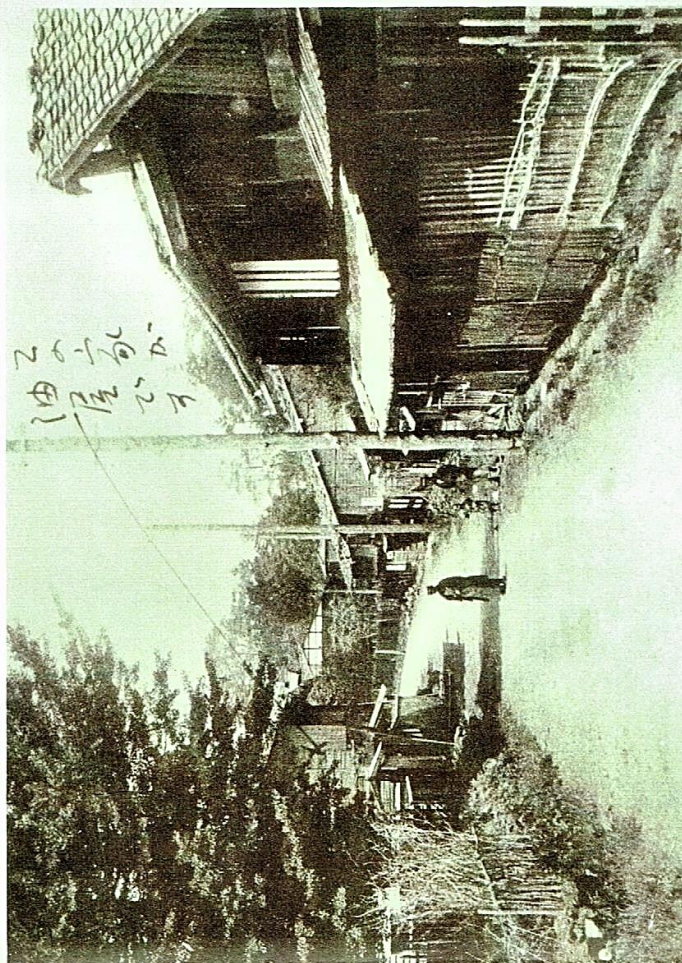


25 文政5年の駒本陣出陣

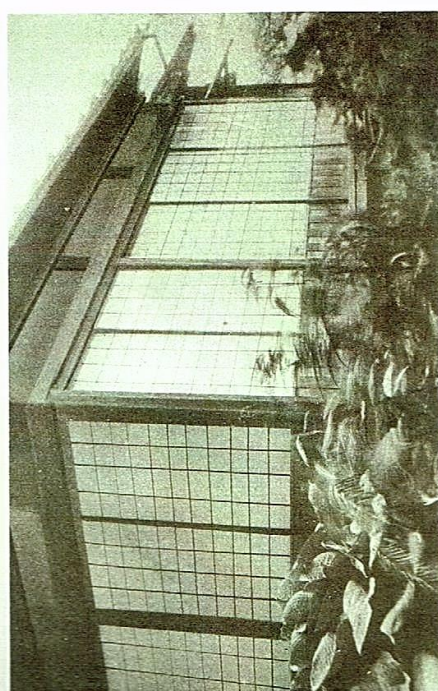
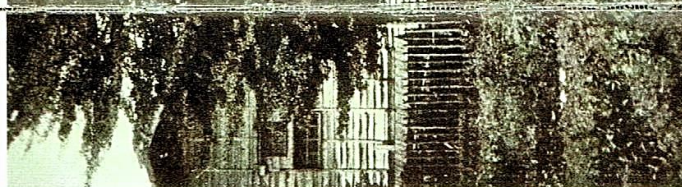


28 鎌倉市の藤本陣油屋

29 昭和初期頃の辻分町（*この家が油屋です*の書込みは現存無）



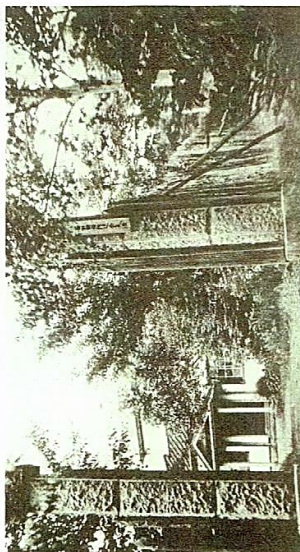
20 辻分の油屋旅館



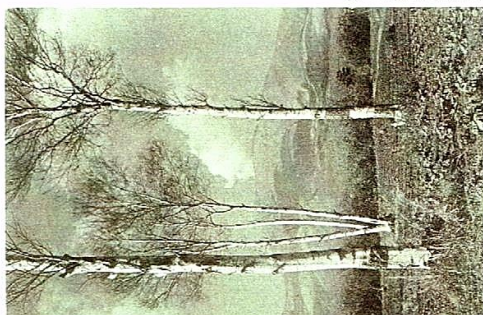
寛政在野となった辻分本陣



22 近分から奥山を望む

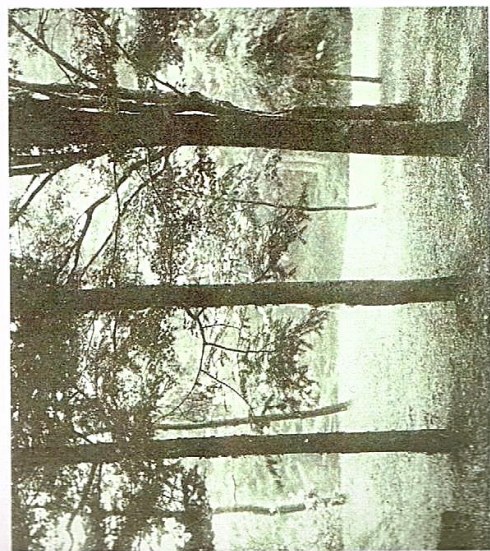


23 長野県松本市近分支所

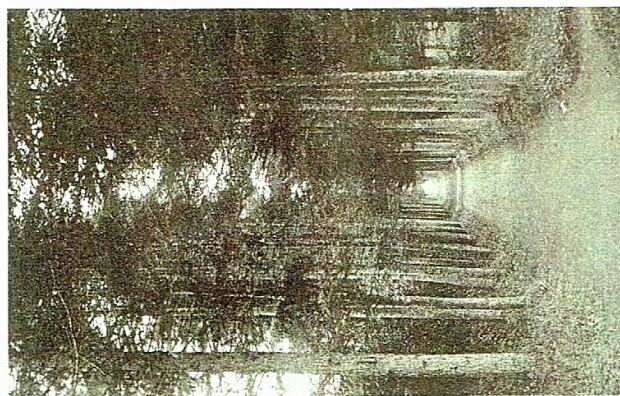


24 白樺守之丞近分原

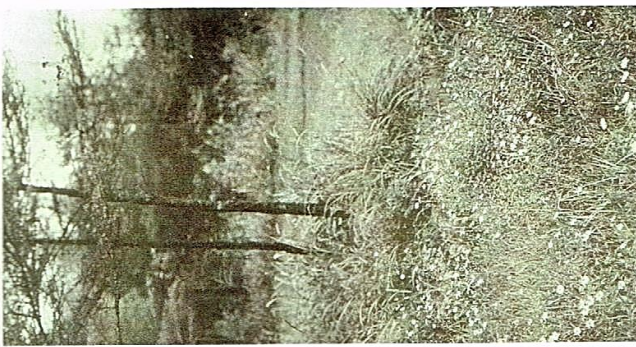
軽井沢の植物



25 カラマツ林の朝



26 カラマツ並木の道



27 カラマツと野菊